

東北学院震災復興対策委員会（第11回）次第

日時：平成23年7月6日（水）常務理事会終了後

場所：土樋キャンパス1号館6階会議室

委員：平河内理事長（委員長）・星宮学院長（副委員長）宮城総務担当常任理事

関谷財務担当常任理事・柴田人事担当常任理事・高橋法人事務局長・斎藤学務担当副学長

高木法学部長・永井中学校・高等学校長・久能榴ヶ岡高等学校長・日野総務部長・高橋財

務部長・佐々木施設部長・佐藤庶務部長・斎藤庶務課長・若生人事課長・駒板財務課長

陪席：那須監事

黙祷 委員長 平河内 健治

協議事項

- 1、前回議事録確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1P
- 2、震災復興関連のシンポジウム開催について(お願い)・・・・・・・・・・・・・2～4P
- 3、被災学生への聖書寄贈について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5P
- 4、主たる家計維持者が所有する自宅家屋に借家、アパートは含まれるか？・・・・6P
- 5、東北学院中学校・高等学校東日本大震災の被災学生に対する
 救済措置に関する規程の一部改正について・・・・・・・・・・・・・7～11P
- 6、榴ヶ岡高等学校東日本大震災の被災学生に対する
 救済措置に関する規程の一部改正について・・・・・・・・・・・・・12～14P
- 7、仙台市からの学校備蓄用物資の提供について（東北学院中学校・高等学校）・15～17P
- 8、災害備蓄用物資提供について（東北学院榴ヶ岡高等学校）・・・・・・・・・・18～19P
- 9、義援金(私学ボランティア基金)による
 東日本大震災被災校への災害見舞金(東北学院中学校・高等学校)・・・・・・20～24P
- 10、義援金(私学ボランティア基金)による
 東日本大震災被災校への災害見舞金(東北学院榴ヶ岡高等学校)・・・・・・21～24P
- 11、東日本大震災に関する東北学院の記録作成について（資料なし）

第 10 回 東北学院震災復興対策委員会議事録

日 時：平成 23 年 6 月 15 日（水） 15：00～15：50

場 所：1 号館 6 階会議室

出席委員：平河内健治 星宮 望 宮城光信 関谷 登 柴田良孝 齋藤 誠 高木龍一郎
永井英司 湯本良次 高橋清昭、佐藤範明 高橋秀悦 日野 哲 佐々木文彦
齋藤英夫 若生克義 駒板高明 以上 17 名
陪 席：那須和良（監事）

協議事項

1. 前回第 9 回議事録確認 委員会終了時までに確認いただき、承認された。

2. 東日本大震災の被災学生に対する就職活動支援について

説明：高橋財務部長 資料に基づき説明があり、県外への就職活動旅費に対する補助に関し、予算措置することが承認された。なお、対象は東日本大震災被災学生に対する救済措置に関する規程第 1 条各号に該当する 4 年生（平成 23 年度及び平成 24 年度に実施）支給限度額は 1 学生 30,000 円となる。また、併せて学内で実施する面接会の会場設営費用についても承認された。予算額は併せて 5,468,100 円となる。

3. 東日本大震災に伴う大学の復旧状況及び建物・構築物復旧工事金額について

説明：佐々木施設部長、永井中学校・高等学校長及び湯本榴ヶ岡高等学校副校長 各部門ごとに、資料に基づき説明があり、了承された。なお、幼稚園については総額約 1,300,000 円程度の予定額との追加説明があった。

4. 東日本大震災に伴う緊急奨学金申込み状況（奨学会運営委員会から）

説明：高橋財務部長 資料に基づき説明があり、6 月 6 日現在の申込み状況の報告がありました。承認された。なお、最終的にはこの 4 倍から 5 倍の数を想定しているとの説明があった。




5. 東日本大震災被災学生に対する救済措置に関する規程

説明：高橋財務部長 資料に基づき説明があり、規程に附則を追加し、来年度入学予定者についても本規程が適用できるよう改正することが承認された。

6. 7 月以降の石巻からの通学バス運行についての嘆願書

説明：日野総務部長 資料に基づき説明があり、前期授業終了まで運行を延期することが承認された。なお、後期からの運行はないことを確認した。その他、合宿所が利用できないか、また、次年度入学生に対して寄宿舍へ優先的に入舎できる制度がもてないか等、検討を依頼することとした。


以 上

学 長	副学長	副学長	総務部長
			

財 務 課 長
財 務 部 長

平成23年6月20日

星宮 望学長 殿

経営学部長 山本展雅 

震災復興関連のシンポジウム開催について（お願い）

平成23年度当初予算の事業として企画しておりましたシンポジウム（「東北地方と自動車産業」および「おもてなしの経営学」）が、このたびの震災に関連して見送りとなっております。

6月18日の経営学部教授会で大震災からの復興に向けた方策・提言について発信することが学部としての社会的責任ではないかという、強い要望が多く教員から寄せられました。そこで上記二つのプロジェクトを「復興という視点」から再構成し、シンポジウムを開催致したいと存じます。なにとぞご理解とご支援を下さるようお願い申し上げます。なお、シンポジウムは5月11日付「震災復興対策委員会」名の復興関連教育研究部門からの発信機能強化の趣旨に則り企画（別添資料）したいと存じます。

シンポジウム案

経営を考えるシンポジウム 2011 秋

震災下の企業経営——宮城の観光業と製造業の危機管理と復興を考える——

13:00～13:10 あいさつ 学部長

第一セッション 観光業 震災下でのおもてなしの心とは

13:10～13:50 女将さんの報告（磯田女将）

13:50～14:30 女将さんの報告（阿部女将）

14:30～15:10 パネルディスカッション（女将2名＋斎藤・矢口）

（休憩 10 分）

第二セッション 製造業 自動車産業の被災状況報告と復旧・復興への途

15:20～15:50 外部講師 岩機ダイカスト

15:50～16:20 内部（村山・折橋）

16:20～17:30 パネルディスカッション（岩機ダイカスト、半田、村山、折橋）

○外部講師謝礼・交通費 3名 宮城県内

○宣伝広告

○外部講師用昼食 × 3

平成 23 年 5 月 11 日
東北学院震災復興対策委員会
(提案 財務部長)

補正予算（復興関連教育研究部門からの発信機能の強化）の件

大震災及び大震災からの復興に関連したシンポジウム、講演会、市民講座等を開催し、本学院からの情報発信機能を強化する。

シンポジウム、講演会、市民講座・公開講座等に関する費用については、自粛もしくは節減していただいておりますが、テーマを「大震災」、「大震災からの復興」等に限定し、これらを開催することにより、教員のモチベーションの維持向上を図り、本学院からの情報発信機能を強化するような企画（シンポジウム、講演会、市民講座・公開講座等）に対して、補正予算を計上する。ただし、1 学科（1 研究所）あたり 1 件（全学部で 10 件）、予算額は 1 件当たり 10 万円以内とし、学内教員が司会、コーディネーターの場合は、謝金は支給しない（パネリスト、講師等には、学内基準により支給する）。

〔シンポジウム、講演会、市民講座等の例示〕

文学作品に見る（震災の）無常観、哲学観、人生観
震災の歴史
震災と地政
震災のメンタルケア
経済復興、地域復興
経営再建
震災に関する法律と政治
災害ボランティア活動
震災と情報インフラ
地震・津波の発生メカニズム
福島原発・女川原発：エネルギー問題と放射能
耐震の建築学

2011年7月4日

東北学院大学
星宮望 学長

学長室長 佐々木俊三
宗教部長 佐々木哲夫

ご報告

被災学生への聖書寄贈について

日本聖書協会募金部主任菊池義弘様より、東北学院大学の被災学生を対象に以下のとおり連絡があり、6月24日、小型版旧新約聖書360冊の寄贈がありましたのでご報告申し上げます。

日本聖書協会ではこの度の震災で被災した教会、信徒の皆様に対して、全国から支援してくださる方から寄せられた献金に基づいて無料で聖書を贈呈する働きを行っており、現在までに既に約3,500冊の聖書（子ども向けの絵本聖書、マンガ聖書なども含みます）を被災地にお贈りしました。もし、東北学院大学で上記のような事情から聖書をお入り用の場合でしたら社内で検討の上、ご支援することも可能な場合もございますので、とりあえず、必要冊数、請求理由、配布目的、請求者・送付先などを記していただいた上で下記、日本聖書協会・募金部宛にご連絡いただければ幸いです。

2011/6/1

上記の申し出に対し、本学からは、学生部報告の被災者数を聖書協会に連絡しておりました。

- ・ 自宅が全壊または流失、及び大規模半壊・・・312名
- ・ 自宅が半壊・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44名

なお、市販価格に基づきますと、108万円（1冊3,000円）相当の支援額になります。

以上、ご報告申し上げます。

平成23年6月21日

主たる家計維持者が所有する自宅家屋に借家、アパート等は含まれるか？

① 石巻専修大学

主たる家計支持者が居住する家屋には「借家、アパート等を含む」

② 宮城学院女子大学

現在、借家・アパート等の申請者が数人いるが、自宅家屋に含むかについては、理事会が審議し決定する予定

○市町村役場のり災証明書とは

「り災証明書」は市（町）が被害を受けた方の申請により、住家の被害状況の調査を行い、その確認した事実に基づき発行する証明書で各種支援や税の減免の申請等の基準となるもの。

○住家とは、実際に居住に用いられている建物のことをいいます。

【名取市、角田市、亘理町】

○住家とは・・・実際に居住のために使用している建物のこと。【柴田町】

○住家とは、当該世帯が現実生活の本拠として日常的に使用している建物をいいます。【石巻市】

(住民票の有無が、生活の本拠を見分ける上での判断となります。)

○被災地の役所（役場）の見解は

○「全壊（焼）」「大規模半壊・半壊（焼）」の場合は借家、アパート等にお住まいの方も対象となります。【山元町】

○「全壊（焼）」、「大規模半壊・半壊（焼）」の場合は、自己所有に限らず借家、アパート等にお住まいの方も対象となります。【仙台市】



東北学院中高発第 956 号

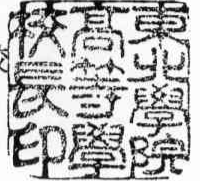
平成 23 年 7 月 1 日

学校法人 東北学院

理事長 平河内 健 治 殿

東北学院中学校・高等学校

校長 永 井 英 司



東北学院中学校・高等学校東日本大震災被災生徒に対する
救済措置に関する規程の一部改正について（上申）

標記の件について、東日本大震災及びその余震により被災を受けた受験生に対して、本校は「東北学院中学校・高等学校東日本大震災被災生徒に対する救済措置に関する規程」により経済的支援として、平成 24 年度入試における入学検定料を全額免除いたしたく規程の改正を行いたいと思いますので、理事会でご承認いただきたく上申いたします。

規程一部改正の内容

- ① 被災された受験生の入学検定料（中学校 12,000 円）を全額免除する。
- ② 被災された受験生の入学検定料（高等学校 14,000 円）を全額免除する。

添付書類

1. 「東北学院中学校・高等学校東日本大震災被災生徒に対する救済措置に関する規程」新旧対照表（案）



新旧対照表

○東北学院中学校東日本大震災被災生徒に対する救済措置に関する規程（案）

新	旧
<p>第1条 東北学院中学校は、東日本大震災被災地（災害救助法適用地域に指定された地域）出身で、被災の大きい本校生徒（平成23年度入学生を含む）に対して臨時に次の救済措置をとる。</p> <p>（1）主たる家計維持者が死亡または行方不明になった場合には、当該年度の授業料1年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（2）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊または津波により流失した場合は、当該年度の授業料半年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（3）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（4）主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（5）主たる家計維持者が失職した場合には、当該年度の授業料相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p>	<p>第1条 東北学院中学校は、東日本大震災被災地（災害救助法適用地域に指定された地域）出身で、被災の大きい本校生徒（平成23年度入学生を含む）に対して臨時に次の救済措置をとる。</p> <p>（1）主たる家計維持者が死亡または行方不明になった場合には、当該年度の授業料1年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（2）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊または津波により流失した場合は、当該年度の授業料半年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（3）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（4）主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（5）主たる家計維持者が失職した場合には、当該年度の授業料相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p>
<p>第2条 緊急給付奨学金の給付を希望するものは、次の書類を提出しなければならない。</p> <p>（1）東日本大震災被災緊急給付奨学金申請書（本校所定）</p> <p>（2）戸籍抄本もしくは住民票除票の写し（第1条第1号に該当する場合）</p> <p>（3）罹災証明書（第1条第2号、第3号、第4号に該当する場合）</p>	<p>第2条 緊急給付奨学金の給付を希望するものは、次の書類を提出しなければならない。</p> <p>（1）東日本大震災被災緊急給付奨学金申請書（本校所定）</p> <p>（2）戸籍抄本もしくは住民票除票の写し（第1条第1号に該当する場合）</p> <p>（3）罹災証明書（第1条第2号、第3号、第4号に該当する場合）</p>
<p>第3条 緊急給付奨学金は奨学生の採用決定後に給付する。</p>	<p>第3条 緊急給付奨学金は奨学生の採用決定後に給付する。</p>

新	旧
<p>第4条 東北学院中学校は、平成24年度入学考査において、東日本大震災被災地(災害救助法適用地域に指定された地域)出身で、以下のいずれかに該当する受験生については、入学検定料を全額免除する。</p> <p>(1) 主たる家計維持者が死亡または行方不明の場合</p> <p>(2) 主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊または津波により流失した場合</p> <p>(3) 主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した場合</p> <p>(4) 主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合</p> <p>第5条 入学検定料の免除を希望するものは、次の書類を提出しなければならない。</p> <p>(1) 東日本大震災被災に伴う入学検定料特別措置申請書(本校所定)</p> <p>(2) 戸籍抄本もしくは住民票除票の写し(対象者(1)に該当する場合)</p> <p>(3) 罹災証明書(対象者(2)、(3)、(4)に該当する場合)</p> <p>第6条 入学検定料は後日返還する。</p>	
<p>第7条 本規程は平成23年4月1日より施行し、平成26年3月31日に失効する。ただし、第1条第5号及び第4条に関しては平成23年度限りとする。</p>	<p>第4条 本規程は平成23年4月1日より施行し、平成26年3月31日に失効する。ただし、第1条第5号に関しては平成23年度限りとする。</p>

新旧対照表

○東北学院高等学校東日本大震災被災生徒に対する救済措置に関する規程（案）

新	旧
<p>第1条 東北学院高等学校は、東日本大震災被災地（災害救助法適用地域に指定された地域）出身で、被災の大きい本校生徒（平成23年度入学生を含む）に対して臨時に次の救済措置をとる。</p> <p>（1）主たる家計維持者が死亡または行方不明になった場合には、当該年度の授業料1年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（2）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊または津波により流失した場合は、当該年度の授業料半年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（3）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（4）主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>第2条 緊急給付奨学金の給付を希望するものは、次の書類を提出しなければならない。</p> <p>（1）東日本大震災被災緊急給付奨学金申請書（本校所定）</p> <p>（2）戸籍抄本もしくは住民票除票の写し（第1条第1号に該当する場合）</p> <p>（3）罹災証明書（第1条第2号、第3号、第4号に該当する場合）</p> <p>第3条 緊急給付奨学金は奨学生の採用決定後に給付する。</p> <p>第4条 東北学院高等学校は、平成24年度入学考査において、東日本大震災被災地（災害救助法適用地域に指定された地域）出身で、以下のいずれかに該当する受験生については、入学検定料を全額免除する。</p>	<p>第1条 東北学院高等学校は、東日本大震災被災地（災害救助法適用地域に指定された地域）出身で、被災の大きい本校生徒（平成23年度入学生を含む）に対して臨時に次の救済措置をとる。</p> <p>（1）主たる家計維持者が死亡または行方不明になった場合には、当該年度の授業料1年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（2）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊または津波により流失した場合は、当該年度の授業料半年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（3）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（4）主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>第2条 緊急給付奨学金の給付を希望するものは、次の書類を提出しなければならない。</p> <p>（1）東日本大震災被災緊急給付奨学金申請書（本校所定）</p> <p>（2）戸籍抄本もしくは住民票除票の写し（第1条第1号に該当する場合）</p> <p>（3）罹災証明書（第1条第2号、第3号、第4号に該当する場合）</p> <p>第3条 緊急給付奨学金は奨学生の採用決定後に給付する。</p>

新	旧
<p>(1) 主たる家計維持者が死亡または行方不明の場合</p> <p>(2) 主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊または津波により流失した場合</p> <p>(3) 主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した場合</p> <p>(4) 主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合</p> <p>第5条 入学検定料の免除を希望するものは、次の書類を提出しなければならない。</p> <p>(1) 東日本大震災被災に伴う入学検定料特別措置申請書（本校所定）</p> <p>(2) 戸籍抄本もしくは住民票除票の写し（対象者(1)に該当する場合）</p> <p>(3) 罹災証明書（対象者(2)、(3)、(4)に該当する場合）</p> <p>第6条 入学検定料は後日返還する。</p> <p>第7条 本規程は平成23年4月1日より施行し、平成24年3月31日に失効する。</p>	<p>第4条 本規程は平成23年4月1日より施行し、平成24年3月31日に失効する。</p>



東北学院榴高発第 478 号

平成 23 年 6 月 30 日

学校法人 東北学院

理事長 平河内 健 治 殿

東北学院榴ケ岡高等

校長 久 能 隆



東北学院榴ケ岡高等学校東日本大震災被災生徒に対する
救済措置に関する規程の一部改正について（上申）

標記の件について、東日本大震災及びその余震により被災を受けた受験生に対して、本校は「東北学院榴ケ岡高等学校東日本大震災被災生徒に対する救済措置に関する規程」により経済的支援をいたしたく、平成 24 年度推薦入試及び一般入試における入学検定料を全額免除いたしたく改正しなければなりませんので、理事会でご承認いただきたく上申いたします。

規程一部改正の内容

- ① 被災された受験生の入学検定料（14,000 円）を全額免除する。

添付書類

1. 「東北学院榴ケ岡高等学校東日本大震災被災生徒に対する救済措置に関する規程」新旧対照表

以 上



新旧対照表

○東北学院榴ヶ岡高等学校東日本大震災被災生徒に対する救済措置に関する規程（案）

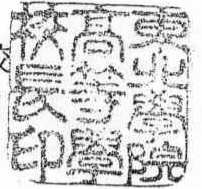
新	旧
<p>第1条 東北学院榴ヶ岡高等学校は、東日本大震災被災地（災害救助法適用地域に指定された地域）出身で、被災の大きい本校生徒（平成23年度入学生を含む）に対して臨時に次の救済措置をとる。</p> <p>（1）主たる家計維持者が死亡または行方不明になった場合には、当該年度の授業料1年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（2）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊または津波により流失した場合は、当該年度の授業料半年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（3）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（4）主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p>	<p>第1条 東北学院榴ヶ岡高等学校は、東日本大震災被災地（災害救助法適用地域に指定された地域）出身で、被災の大きい本校生徒（平成23年度入学生を含む）に対して臨時に次の救済措置をとる。</p> <p>（1）主たる家計維持者が死亡または行方不明になった場合には、当該年度の授業料1年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（2）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊または津波により流失した場合は、当該年度の授業料半年分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（3）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p> <p>（4）主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合は、当該年度の授業料3ヶ月分相当額を緊急給付奨学金として給付する。</p>
<p>第2条 緊急給付奨学金の給付を希望するものは、次の書類を提出しなければならない。</p> <p>（1）東日本大震災被災緊急給付奨学金申請書（本校所定）</p> <p>（2）戸籍抄本もしくは住民票除票の写し（第1条第1号に該当する場合）</p> <p>（3）罹災証明書（第1条第2号、第3号、第4号に該当する場合）</p>	<p>第2条 緊急給付奨学金の給付を希望するものは、次の書類を提出しなければならない。</p> <p>（1）東日本大震災被災緊急給付奨学金申請書（本校所定）</p> <p>（2）戸籍抄本もしくは住民票除票の写し（第1条第1号に該当する場合）</p> <p>（3）罹災証明書（第1条第2号、第3号、第4号に該当する場合）</p>
<p>第3条 緊急給付奨学金は奨学生の採用決定後に給付する。</p>	<p>第3条 緊急給付奨学金は奨学生の採用決定後に給付する。</p>
<p>第4条 東北学院榴ヶ岡高等学校は、平成24年度入学考査において、東日本大震災被災地（災害救助法適用地域に指定された地域）出身で、以下のいずれかに該当する受験生については、入学検定料を全額免除する。</p>	

新	旧
<p><u>(1) 主たる家計維持者が死亡または行方不明の場合</u></p> <p><u>(2) 主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊または津波により流失した場合</u></p> <p><u>(3) 主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した場合</u></p> <p><u>(4) 主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合</u></p>	
<p>第5条 入学検定料の免除を希望するものは、次の書類を提出しなければならない。</p> <p><u>(1) 東日本大震災被災に伴う入学検定料特別措置申請書（本校所定）</u></p> <p><u>(2) 戸籍抄本もしくは住民票除票の写し（対象者(1)に該当する場合）</u></p> <p><u>(3) 罹災証明書（対象者(2)、(3)、(4)に該当する場合）</u></p>	
<p>第6条 入学検定料は後日返還する。</p>	
<p>第7条 本規程は平成23年4月1日より施行し、平成24年3月31日に失効する。</p>	<p>第4条 本規程は平成23年4月1日より施行し、平成24年3月31日に失効する。</p>

平成 23 年 7 月 5 日

東北学院震災復興対策委員会
委員長 平河内 健 治 殿

東北学院中学校・高等学校
校長 永 井 英 司



仙台市からの学校備蓄用物資の提供について（ご報告）

標記の件につきまして、仙台市経済局より学校備蓄用物資提供の申し出がありました。この度、備蓄用物資が別紙のとおり配送されましたのでご報告申し上げます。

別紙資料

災害備蓄品在庫一覧



災害備蓄品在庫一覧

H23. 7. 4現在

	物資品目	仕様	数量		保管場所	備考	賞味期限
1	水	1. 5ℓ×6本入	96箱	576 本	体育館倉庫		2012. 8. 28
2	麦茶	2ℓ×6本入	5箱	30 本	体育館倉庫		2012. 1. 30
3	カップめん	54食入	1箱	54 食	体育館倉庫		2011. 12. 13
4	アルファ米	50食入	2箱	100 食	体育館倉庫		2012. 4. 26
5	おかゆ	50食入	2箱	100 食	体育館倉庫		2016. 3. 31
6	マスク	2000枚入	20箱	40, 000 枚	体育館倉庫		
7	ハンドジェル	330ml×40本入	20箱	800 本	体育館倉庫		
8	カイロ	24個入	2箱	48 個	体育館倉庫		
9	歯ブラシ	72個入	4箱	288 個	体育館倉庫		
10	緊急避難セット	18個入	3箱	54 個	体育館倉庫		
11	携帯充電器	12個入	1箱	12 個	体育館倉庫		
12	生理用ナプキン	2枚×100個入	20箱	4, 000 枚	体育館倉庫		
13	トイレットペーパー	100巻入	15箱	1, 500 個	体育館倉庫		
14	プランケット	90枚入	23箱	2, 070 枚	体育館倉庫		
15	毛布		28枚	28 枚	体育館倉庫		
16	シーツ		25枚	25 枚	体育館倉庫		
17	ひざ掛け	30枚入	10箱	300 枚	体育館倉庫		
18	タオル	600枚入	1 箱	600 枚	体育館倉庫		
19	非常用水入れ袋	100枚入	2箱	200 枚	体育館倉庫		
20							
21							
22							
23							
24							
25							
27							
28							
29							
30							

平成23年6月7日

学 校 長 殿

宮城県私立中学高等学校連合会
会 長 松 良 千 廣
(公 印 省 略)

学校備蓄用物資の提供について

このたび、仙台市経済局より学校備蓄用物資提供の申し出がありました。
貴校で希望する場合は、別紙の提供希望調査表により、平成23年6月20日(月)まで
中高連事務局あてご報告下さい。
よろしくお願いいたします。

宮城県私立中学高等学校連合会事務局
電話 022-299-7117
FAX 022-299-6776



東北学院榴高発第 513 号

平成 23 年 7 月 5 日

東北学院震災復興対策委員会

委員長 平河内 健 治 殿

東北学院榴ヶ岡高等学校
校長 久 能 隆

災害備蓄用物資提供について（報告）

標記の件について、東日本大震災により被災を受けた学校に対して、仙台市経済局より中高連を通じて備蓄用物資の提供の申し出があり、別紙のとおり物資提供を受けましたのでご報告いたします。

添付書類

1. 「災害備蓄品一覧」
2. 学校備蓄用物資の提供について

以 上



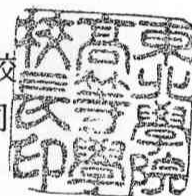
H23. 6. 29現在

	物資品目	仕様	数量	賞味期限	備考	
1	毛布（新品）	15枚入り	8箱			120 枚
2	毛布（クリーニング済）	5枚入り	13箱			65 枚
3	毛布（クリーニング済）	10枚入り	5箱			50 枚
4	敷毛布（新品）	5枚入り	10箱			50 枚
5	敷毛布（クリーニング済）	5枚入り	15箱			75 枚
6	敷毛布（クリーニング済）	10枚入り	2箱			20 枚
7	敷毛布（中古）	7枚入り	1箱			7 枚
8	水	1. 5L×6袋	96箱	2012. 9. 1		576 袋
9	麦茶	2L×6本	5箱	2012. 1. 30		30 本
10	マスク	2000枚入り	16箱			32000 枚
11	マスク	1000枚入り	4箱			4000 枚
12	ナプキン ウィスパ-	22枚×2×6	4箱			1056 個
13	ナプキン ウィスパ-	2枚×100	10箱			200 個
14	ナプキン 朝日	42個×2×12	6箱			6048 個
15	ハンドジェル	330ml×40本	16箱			640 本
16	ハンドジェル	5000ml×10	2箱			20 本
17	アルファ米	50食入り	4箱	2011. 9. 3	2箱は9/4期限	200 食
18	トイレットペーパー	12ロール×8	15箱			1440 個
19	ブランケット	40枚入り	4箱			160 枚
20	ブランケット	30枚入り	3箱			90 枚
21	ブランケット	36枚入り	2箱			72 枚
22	非常用ライト	12個入り	1箱		ラジオ・携帯充電器付	12 個
23	非常用水袋	100枚入り	2箱			200 袋
24	おかゆ	41g×150袋	8箱	H28. 3. 31	オーダー外	1200 食
25	消毒用アルコールジェル	500ml×10	2箱		オーダー外	20 個
26	歯ブラシセット	72個入	5箱		オーダー外	360 個
27	軍手（紳士用）	200双	1箱		オーダー外	200 組
28	カイロ	10個×24	2箱		オーダー外	480 個
29	カイロ（靴下用）	200個	1箱		オーダー外	200 個
30	タオル	600枚入り	1箱		オーダー外	600 枚
31	カップ麺	54個入り	1箱	2011.12. 13	オーダー外	54 個

平成 23 年 7 月 5 日

東北学院震災復興対策委員会
委員長 平河内 健 治 殿

東北学院中学校・高等学校
校長 永 井 英 司



義援金（私学ボランティア基金）による東日本大震災被災校
への災害見舞金の確定について （ご報告）

標記の件につきまして、別紙のとおり宮城県私立中学高等学校連合会より
災害見舞金の額の確定通知が届きましたのでご報告申し上げます。

別紙資料

義援金（私学ボランティア基金）による東日本大震災被災校への災害見舞金の確定通知





東北学院榴高発第 514 号

平成 23 年 7 月 5 日

東北学院震災復興対策委員会

委員長 平河内 健 治 殿

東北学院榴ヶ岡高等学校
校長 久 能 隆



義援金（私学ボランティア基金）による東日本大震災被災校
への災害見舞金の贈呈について（報告）

標記の件について、東日本大震災により被災を受けた学校に対して、日本私立
中学高等学校連合会私学ボランティア基金より、災害見舞金として 300,000 円が
贈呈されましたのでご報告いたします。

添付書類

1. 「義援金（私学ボランティア基金）による東日本大震災被災校
への災害見舞金の確定について」（通知）等

以 上

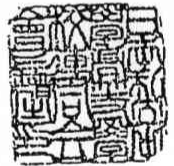


私中高連発第 69 号
平成 23 年 6 月 15 日

都道府県私学協会

会 長 殿
事務局 長 殿

日本私立中学高等学校連合会
私学ボランティア基金
会 長 吉 田



「私学ボランティア基金」による東日本大震災の災害見舞金の
配分・贈呈等に関する内規（別表）」の策定について（通知）

平素より本連合会の事業の推進に、格別なるご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、先般の東日本大震災の被災私立中高への義援金の募集につきましては、皆様のご尽力と温かいお気持ちに支えられ、現在約 1 億 8,400 万円もの金額をお寄せいただいておりますことをご報告申し上げ、心より厚くお礼を申し上げます。

本連合会においては、この貴重な義援金を出来る限り速やかに被災校への見舞金や支援金として贈呈、支給いたすべく、その取扱いについて「内規」としてまとめ都道府県私学協会を経由して各加盟校に通知し、見舞金・支援金の申請をお願いしております。

つきましては、この内規の運用にあたり、第 10 回常任理事会（平成 23 年 6 月 14 日）において私学ボランティア基金理事会を開催し、「被災校に対する災害見舞金」の算定基準・金額と「被災生徒に対する見舞金・支援金」の金額を別表として決めましたので、下記の通りお知らせいたします。

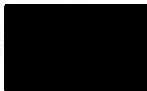

なお、内規 6 の⑤の被災生徒受入れ私立中学高等学校向けの「協力支援金」につきましては、被災生徒が想定より多く、まずは生徒の支援にこの義援金を充てるべきとの趣旨から、この度は見合わせることにいたしましたことを申し添えます。

記

◇送付物

- | | | |
|--|-------|-----|
| ・「私学ボランティア基金」内規 | | 1 部 |
| ・ 〃 内規 6 に係る留意事項 | | 1 部 |
| ・ 〃 別表 | | 1 部 |

◇問合せ先

日本私立中学高等学校連合会 事務局（担当 
電話 03-3262-2828
FAX 03-3237-7637
Eメール 

以上

「私学ボランティア基金」による災害見舞金の配分・贈呈等に関する内規

【別表】

内規5 の③の「被災校に対する災害見舞金額」の算定基準と金額

・被害額 5 億円以上	3 百万円
・ " 3 億円以上	2 百万円
・ " 1 億円以上	1 百万円
・ " 8 千万円以上	80 万円
・ " 5 千万円以上	50 万円
・ " 3 千万円以上	40 万円
・ " 1 千万円以上	30 万円
・ " 5 百万円以上	20 万円
・ " 3 百万円以上	10 万円

内規6 に定める金額

- ・内規6 の①の「弔慰金」 20 万円
- ・ " ②の「修学支援金」 30 万円(両親を亡くした場合は60万円)
- ・ " ③の「見舞金」 7 万円(居住不能の場合を含む)
- ・ " ④の「特別支援金」 10 万円(転校・事実上の就学の期間は2ヶ月以上を対象とする)

東日本大震災 県別学校別物的被害の状況並びに災害見舞金一覧

宮城県

No.	学校名	物的被害の状況				災害見舞金 (千円)
		建物の被災額 (千円)	建物以外の被災 額(千円)	その他の額 (千円)	被災合計額 (千円)	
3	東北学院中学校・高等学校	78,661			78,661	500
4	東北学院榴ヶ岡高等学校	11,904	16,805		28,709	300

注: ①中高併設校は1校扱い。②物的被害の状況は、私学協会報告による。③災害見舞金額は、内規別表に基づき算定。